



タマネギの球を太らせたい

Q. タマネギの球がうまく太りません。どうすればよいのでしょうか。

A. 肥料がいつまでも効いていると球の肥大が遅れます。追肥は2月下旬（早生種）で打ち切ります。

また、土が乾燥すると球の肥大は悪くなりますから、乾いたら十分に水をやります。

<ポイント>

追肥の打ちきり時期を守って、肥料の遅効きによる球の肥大遅れを防ぎ、十分に水をやって肥大に備えます。

1 タマネギの性質

生育適温は10～15℃ですが、若苗は-8℃でも枯死しません。しかし、25℃以上の高温になると生育が悪くなります。

気温が15～20℃になり日長が長くなる（早生 11～12.5時間、晩生 13～14時間）と、葉鞘基部と鱗茎が肥大して球になります。

2 トウ立ち

茎の直径が6mm以上の太い苗が10℃以下の低温に30日以上会うと花芽ができて、球が太りきらないうちにトウ立ちしてしまいます。

3 球を太らせるには・・・

(1) 乾燥を防ぐ

乾燥させると活着、生育、球の肥大が悪くなります。冬でも十分に水をやって下さい。

(2) 最終追肥は2/下～3/上までに

タマネギは比較的、多肥を好みます（とくにリン酸分）が、何時までも効いていると球の肥大が遅れ、軟弱に育ち病気にかかりやすくなります。追肥は2月下旬（早生種）～3月中旬（晩生種）までにすませます。

(3) 追肥の量

化成肥料 10g/標準プランター



プランターでもよく太る